



谷間の百合 1月

学校法人信栄学園 幼保連携型認定こども園 平幼稚園
2022. 1. 11

1月の聖句

「子よ、元気を出しなさい。」

マタイによる福音書9章2節

園長 平澤 功

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。去年は入院・手術とご心配とご迷惑をおかけしました。退院を告げられた翌朝、次のような夢を見ました。
【ふつうが一番】朝起きてオシッコをする 散歩に出かけてからランチをする テレビのニュースを見ながらご飯を食べる。満員電車で揺られて出勤する 笑顔で皆に「おはよう」のあいさつをする。ふつうに仕事をはじめる ときどきふつうでない仕事にも出くわす そうこうするうちに昼休みとなる 安めの弁当を買ってビール一杯分をひねり出す 休みはあっという間に過ぎる。午後の仕事が始まる 激しい口論をする やっと折り合いをつけて、一日の仕事が終わる。同僚と赤ちょうちん(酒場)に出かける 飲みあい議論しあううちに声が大きくなる 一定の時間が過ぎるとお開きになる。帰りの電車では議論したことはすばらしかったことは覚えているが 内容はすっかり忘れてしまう 降りる駅を乗り越えてしまう どんなに酔っていても家にはたどり着いている 連れ合いに「こんなに飲んで」と叱られながら ベットにもぐり込む。「君には感謝しているよ」とつぶやきながら、いつの間にか眠っている 幸せな一日であった。そしてふつうの翌朝を迎える。

「ふつうが一番」、私の母が口癖にしていたことを、夢から覚めた時、急に思い出しました。「赤ちょうちん」以下は同意しかねる方もおられると思いますが、食事し、排泄し、仕事(社会的な交わり)をする、リラックスタイムを持ち、寝る家もある「ふつうの生活」がどんなに幸せで貴重大切なことであるか。2カ月余にわたる入院生活をして、つくづく思わされました。

世界中の子どもたちが「ふつうの日常生活」が保障され、神様に守られ、元気にのびのびと成長することを願って、今年も園長の職務を果たして行きたいと思ひます。

1月の行事予定

11日(火)	第3学期始業式(1号午前保育)
13日(木)	避難訓練
18日(火)	おやこ広場
25日(火)	おやこ広場
26日(水)	交通教室
27日(木)	お弁当の日
28日(金)	誕生日祝会

<お詫び>

*12月の谷間の百合の年主題聖句を間違っ
掲載してしまいました。申し訳ありませんでした。

わたしは愛されていると感じ 心満たされて今を生き 明日の希望を持つために

2021年度 年主題 **共に喜んで**

年主題聖句 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜びます。
コリントの信徒への手紙1 12章26節

<キリスト教保育・月主題 1月>

乳児クラス (0.1.2歳児) 月主題 「あそぼう」	幼児クラス (3.4.5歳児) 月主題 「じっくりと」
-------------------------------	--------------------------------

新年あけましておめでとうございます。イエスさまのご降誕のクリスマスの意義を深く思う季節の中で、私達は新しい主の年2022年を迎えました。毎年新しい年を迎えるということは全てが新しくされているような期待感と希望に満ち溢れていますね。子ども達の生活の毎日にはまさにこれです。幼い子ども達の新たな歩み、新たな成長は全て未来に向かって進んでいくのだと思います。その中には「土台」の築きと積み重ねがあります。子ども達一人ひとりの土台をしっかりと築けるよう、また明日に思いをつなげられるような保育に努めていきたいと思ひます。小さな手を組み合わせて祈る子ども達に、神さまの存在を伝えながら「安心していいんだよ、神さまはどんな時にも共にいて下さるよ」という事を伝えていながら…。本年もどうぞよろしくお願いたします。

副園長 高萩恵美

新年にあたって

わたしたちの園では
こんな日々を
目ざしています
キリスト教保育連盟
出版委員会

この花のように美しい心を
神さまください小さなわたしにも
この花のように 人々を愛せる
心をください小さなわたしにも
『幼児さんびかIIより』
(キリスト教保育連盟)

☆一人ひとりを大切に

子どもたちは、神さまから命を与えられ、愛されているかけがえのない存在です。その個性と人格をありのままに受けとめ、尊重することが、保育の第一歩です。信頼関係を築くなかで、子ども自身が自分を信じ、自分らしい歩みをはじめることが出来るように、絶えず応援したいと思ひます。

☆友だちっていいな

友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と他者との違いを知っていくことでしょう。たくさんのぶつかりあいや葛藤を通して、悩み、考え、やがて理解し合い、「共に生きる」ことを学んでいきます。認め合い、力を合わせることの楽しさ、喜びを味わうまでの“道すじ”を大切にしたいと思ひます

☆知りたい、やってみよう

子どもが夢中になって、いきいきと遊ぶことは、「生きる力」に大いにつながります。工夫したり、悩んだり、納得するまで繰り返すなかで、思考力や想像力、そして、「意志」が育まれます。ですから、好奇心や探求心を大切に受けとめ、子どもと共に心を動かす保育をしていきたいと思ひます。

☆神さまの恵みを知り、世界に目を向ける

自然の美しさや不思議さに気づき、その恵みに感謝する心を育みます。けれども、世界に目を向けるとき、現実には人と自然との関係や、国と国との関係に多くの課題があります。人と自然との調和、世界の平和に、私たちがどう貢献できるのか、共に祈り、考え、やがて行動できる人になりたいと思ひます。



平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書 5:9